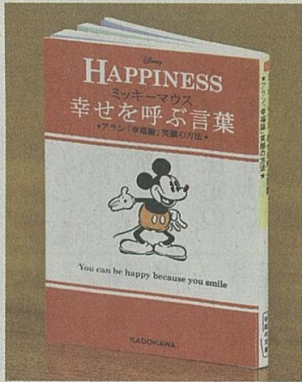


なかむら
中村

けん
健さん(21)

「ミッキーマウス
 幸せを呼ぶ言葉」
 (アラン、角川書店)



この本を書いたアラン氏は、本名をエミール・オーギュスト・シャルテイエといい、「幸福論」という論文を書いた哲学者だ。実は幸福論を全部読もうとするのはかかってしまう。それをかみ砕いて一般の人でも読めるようにしているのが特徴だ。読もうとするのはかかってしまう。それをかみ砕いて一般の人でも読めるようにしているのが特徴だ。

失敗を今後の人生の糧に



私は神奈川県厚木市出身で、今年のプロ野球ドラフト会議で巨人から1位指名された八戸学院大の高橋優貴選手と同じ東海大菅生高校の出身。そこで3年間、野球に打ち込んだ。高橋選手の引退後、私たち後輩が主体になって新チームが始動したが、

徴だ。私は神奈川県厚木市出身で、今年のプロ野球ドラフト会議で巨人から1位指名された八戸学院大の高橋優貴選手と同じ東海大菅生高校の出身。そこで3年間、野球に打ち込んだ。高橋選手の引退後、私たち後輩が主体になって新チームが始動したが、

があることで読みやすくなっている。本の中で「失敗をばねにできるかどうかは自分次第」という言葉がとて印象深い。失敗を経験したことのない人はいないので。私も21年の人生の中で何度も失敗した。

失敗をしてそこで終わってしまうのか。または失敗をばねにして今後の人生の糧にするのか。そのことを考えさせられたので、このフレーズがとて印象に残っている。

私は八戸市内のコーヒー店でアルバイトをしていて、毎月23日に八戸ブックセンターと一緒に「コーヒーと本」というイベントを行っている。本のお題に対して、コーヒーのプロがその本に合わせたコーヒー豆を選択。コーヒーを飲みながら本を読み、本のメッセージ性をコーヒーで表現する取り組みだ。興味があればぜひ参加してほしい。

決勝戦詳報

知的書評合戦
**BIBLIO
 BATTLE
 IN HACHINOHE**

知的書評合戦・第5回「ビブリオバトルin八戸」の決勝戦が17日、八戸市のデーリー東北新聞社で開かれた。高校生から一般までの3部門の予選を通過したファイナリスト6人が「チャンプ本」を懸けて行った発表の様子を紹介する。(取材班)



軽妙なトークでバトルを進行した大地球さん(左)と三浦文恵さん

決勝進出の6人紹介

- ▷ 高校生の部
 - 橋爪 駿さん (八戸市、八戸工大二高1年)
 - 熊谷 秀人さん (岩手県陸前高田市、県立大船渡高1年)
 - 角田 実咲さん (八戸市、青森県立八戸東高2年)
- ▷ 大学生の部
 - 中村 健さん (八戸市、八戸学院大3年)
- ▷ 一般の部
 - 千田 哲史さん (青森市、会社員)
 - 井ノ上洋一さん (八戸市、社会福祉士)